

# 新型コロナウイルス禍に関する支援措置及び要望 に関するアンケート調査結果

2021年10月

一般社団法人中部航空宇宙産業技術センター

## 【調査概要】

**\*調査期間**

令和3年7月26日 ~ 8月20日

**\*調査方法**

記入式調査（電子メールで送付・回収）

**\*対象**

C-ASTEC会員企業を主とした 81社  
（行政・金融機関・支援機関等を除く）

**\*回答数**

52社（回答率 64.20%）

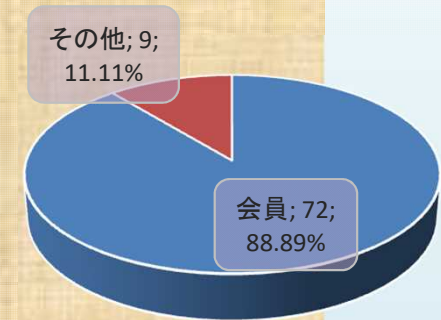
**\*回答企業内訳**

・中小企業 39社（回答企業中 75.00%）

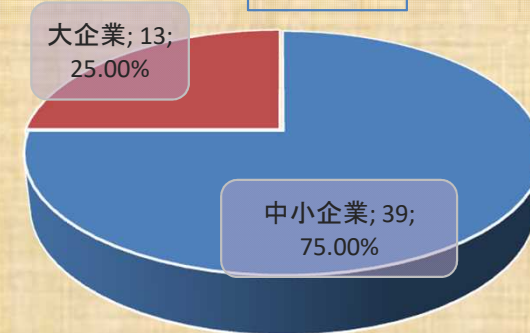
・所在地

愛知県	32社	（回答企業中 61.54%）
岐阜県	8社	（回答企業中 15.38%）
三重県	3社	（回答企業中 5.77%）
その他	9社	（回答企業中 17.31%）

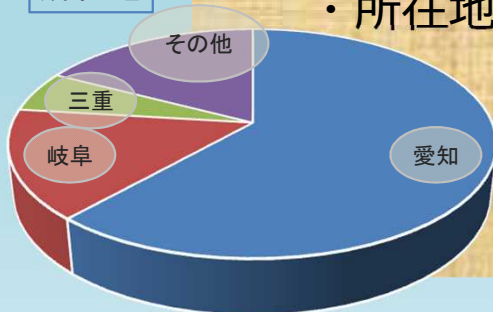
調査対象



企業規模

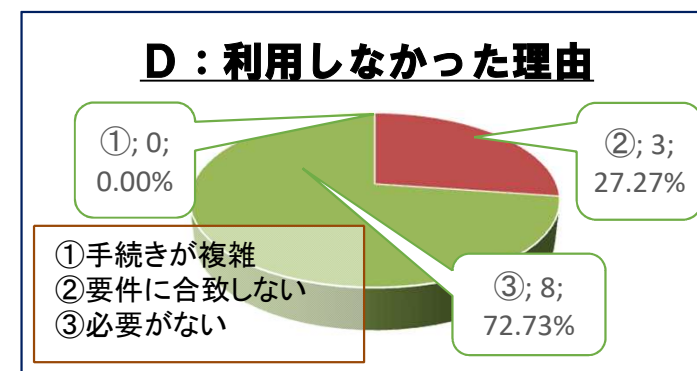
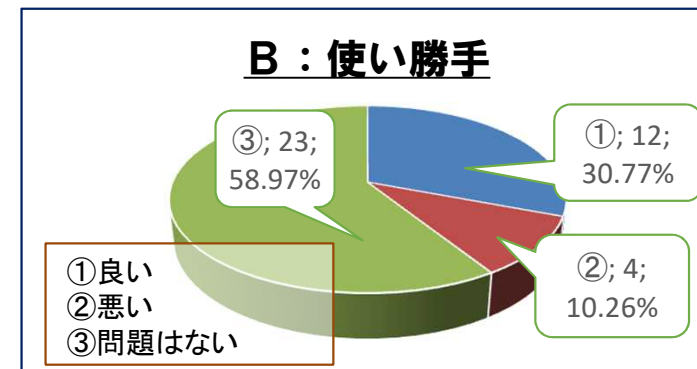
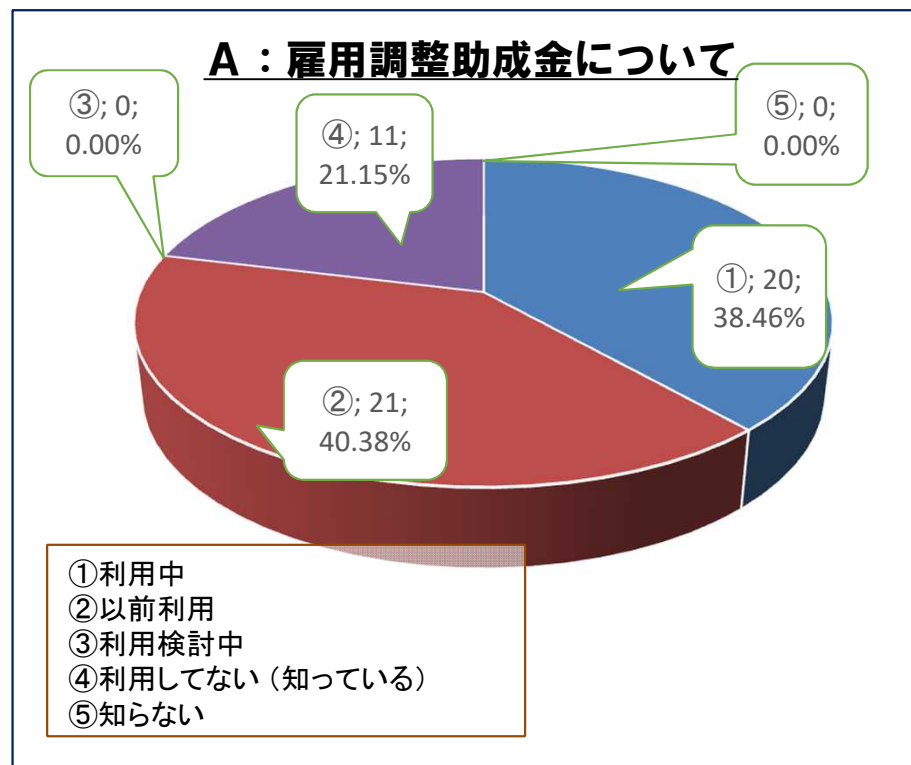


所在地



# 問 1 雇用維持のための支援について<雇用調整助成金> ①

- 雇用調整助成金については、以前利用したのも含め約8割が活用している。
- 利用者した者で、使い勝手が悪いとの回答は1割にとどまっている。
- 期待される改善点としては、圧倒的に特例措置の少なくとも今年度一杯の延長を望んでいる。  
また、延長決定の早期開示を求める声も多い



## 問1 雇用維持のための支援について〈雇用調整助成金〉②

### 期待される改善点

#### 1. 特例期間の延長

- 特例期間を延長して欲しい（2021年度3月末迄）
- 期間延長 年度末まで
- 特例期間の延長（1～2年程度）
- コロナ終息までの延長

#### 2. 延長決定の早期化

- 特例期間の延長の決定について、早く発表してほしい。
- 特例期間の延長を2022年3月末までと早期に決定してほしい
- ギリギリにならないと特例内容や期間が決まらない
- 特例の延長はありがたいが、決定のお知らせがもう少し早いとよい。

#### 3. 手続きの改善

- 教育を行う場合、相手からかなり強い文面の念書をもらう必要があり、実現しなかったケースがある。
- 2か月以内に申請しなければならないという期間に縛りがあり、使いにくい。もう少し余裕が欲しい。利用できるか否かが当月内に把握できない（要件に合致するか否かが月末までは定まらない）
- 勤怠、教育訓練等の報告資料の作成が煩雑である
- 業種や影響度に準じた柔軟な対応

#### 4. その他

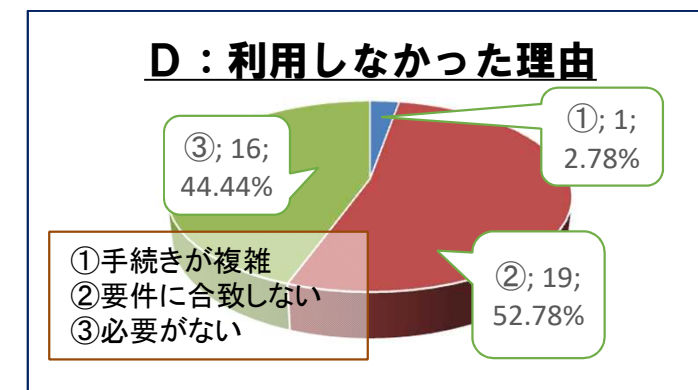
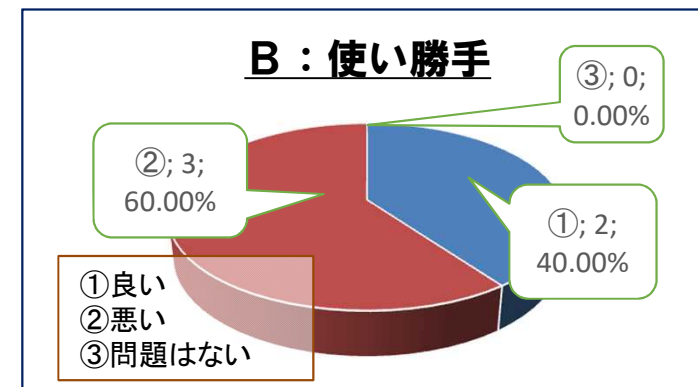
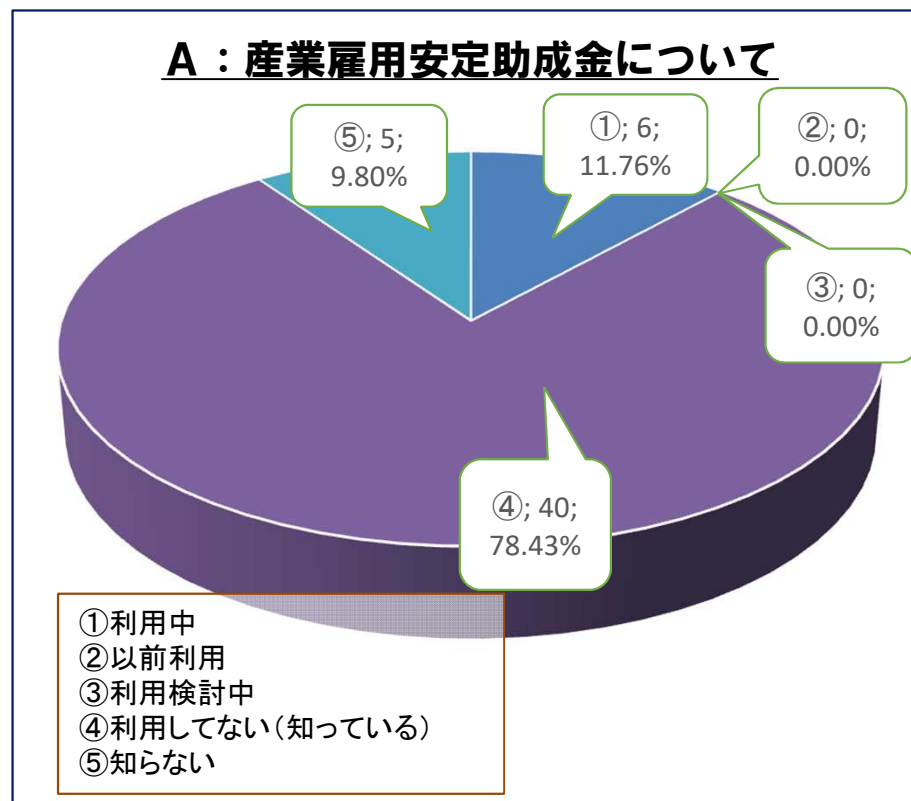
- 給料の全額補助を行ってほしい。
- 本制度を特例措置ではなく通常制度に引き上げてほしい。

### 評価する点

- 非常に助かっているが、いつまで期間があるのかが心配している
- 本制度によりずい分助かっています
- 要件を緩和してもらって利用しやすかった

## 問2 雇用維持のための支援について<産業雇用安定助成金> ①

- 産業雇用安定助成金については、利用者は約1割に止まっており、その6割が使い勝手が悪いと回答。また、未利用者の約8割が「知っているが利用していない」と回答。
- 利用しなかった理由は、「要件に合致しない」あるいは「必要がない」がほとんど。
- 期待される改善点としては、手続きの簡素化、出向元・出向先へ条件の緩和



## 問2 雇用維持のための支援について<産業雇用安定助成金> ②

### 期待される改善点

#### 1. 手続き書類の簡素化

- 申請書類の提出で、出向先の就業規則・給与規程や資本関係資料・派遣の労働者名簿など、出向先へ依頼する部分が多くなるため、見直して頂きたい。
- 開始前の事前提出と煩雑な書類作成。また、出向先からも提出資料も多いため申請しない話もありました。
- 出向元と出向先の賃金の負担関係に種類が7種類と多く煩雑であり、労働局との解釈の食い違いが出ている。
- 出向元申請につき、計画的に作業がしにくい中で、負担が大きい。
- 開始前の事前提出と煩雑な書類作成。
- 同事業所にて、出向受入および出向派遣の双方を行っている場合には本制度の要件に合わず対象外となるが、出向受入と派遣の人数に差がある場合、その差分の人数については助成金の対象となるような制度にしたい。

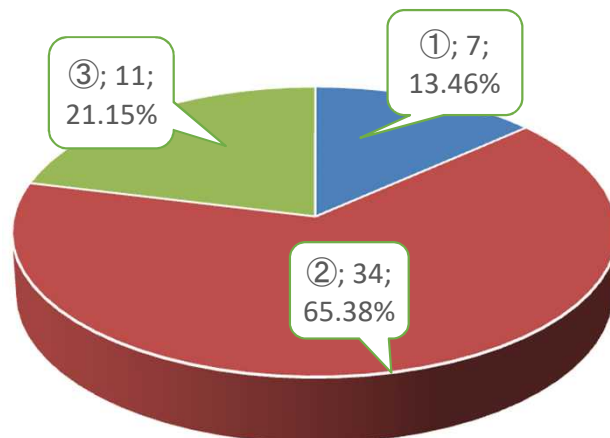
#### 2. 対象要件の拡大

- 出向元と出向先の条件の緩和
- 期間の延長
- 検討案件を多くして欲しい
- 支給限度日数の増加
- 金額アップを希望。申請までの期間に猶予がない。業界動向を見て、延長に期待したい。
- 解雇等や雇用量の減少の要件の緩和
- 出向先での残業他諸手当等も補助の対象にしてほしい
- 出向先から補助が少ないため補填割合を下げられそう
- 企業間出向関係について事前の申請しか認められないので緩和してほしい。出向元にてほとんどの書類を用意するのに助成金が少ない。

### 問 3 雇用維持のための支援について<人材のマッチング> ①

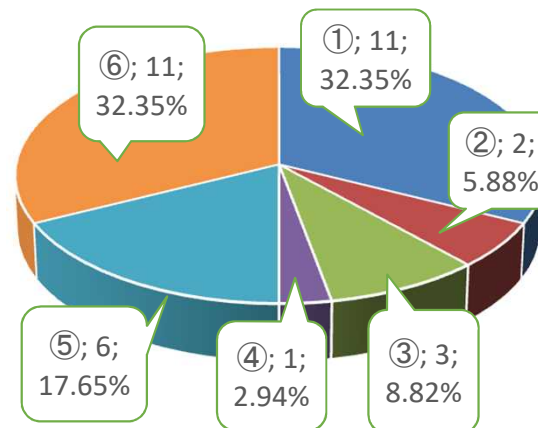
- 東海地域における人材マッチング事業への参加者は、1割強に止まる
- その理由として、そもそも制度を知らないという者が2割あり、参加しない理由として、制度を理解した上で解せる自社で確保又は不要とした者が半数に止まり、本制度の周知が不十分と推察。
- 期待される改善点としては、マッチングに対するフォローを求める声が多い。

**A : 「東海地域における人材マッチング」について**



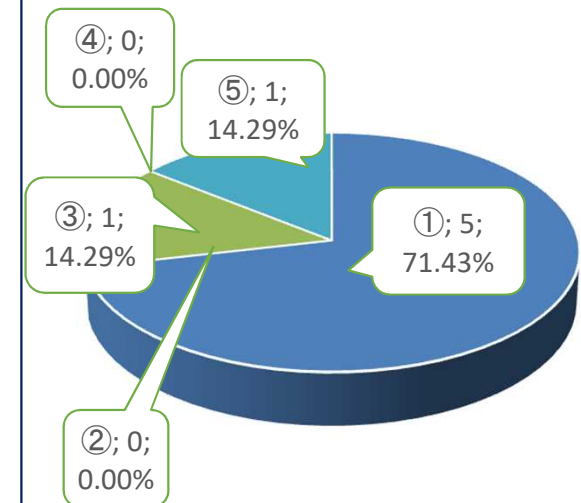
- ①参加している
- ②参加してない(知っている)
- ③知らない

**B : 参加しない理由**



- ①現時点では不要
- ②仕組みがわからない
- ③期待できない
- ④時間がかかりそう
- ⑤自社で出向先を確保できているため
- ⑥その他

**D : 参加理由**



- ①人員に余剰が生じたため
- ②出向者への教育・訓練のため
- ③出向先との交流のため
- ④自社技術の応用のため
- ⑤その他

## 問3 雇用維持のための支援について<人材のマッチング> ②

### 期待される改善点

#### 1. マッチング支援の仕組みが必要

- マッチング先を探す仕組み
- お互いのタイミングが合う機会創出であってほしい
- マッチングと行政の直接的フォローが頂きたい
- 例えば、余剰人員の技術経歴書等提出すれば取り纏めの方がマッチングして頂けるのであれば利用してみたい。
- 必要時期と必要な人材（職種）とのマッチングは困難
- コストをかけずに、部品加工経験等のある人材とマッチング希望
- マッチングする条件が一致する所を探すのが難しい

#### 2. マッチング対象の増加

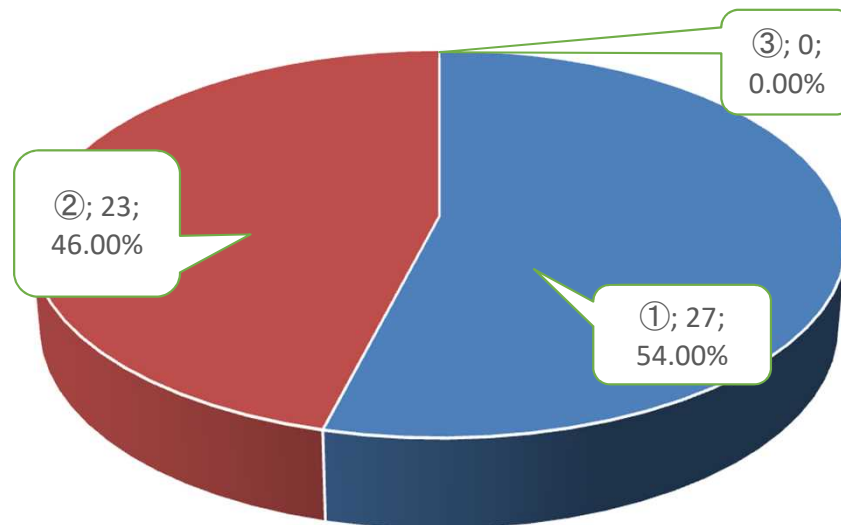
- もっと色々な条件の所があると良い。
- 受け入れ先の情報公開を続けていただきたい
- より多くの受け入れ企業が登録されることをのぞみます。
- 制度の積極的なPR



## 問4 金融支援について<融資制度> ①

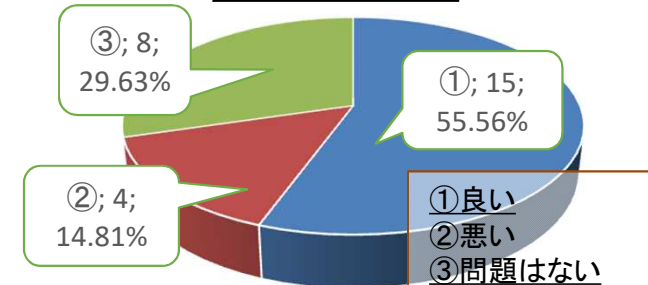
- 中小企業向けの制度融資については、半数以上が活用。
- 使い勝手についても、8割以上が良い又は問題ないと回答。
- 期待される改善点としては、融資枠(実質無利子6千万円)の拡大、据置期間(5年)の延長を望む声が多い。

### A : 中小企業向け制度融資について



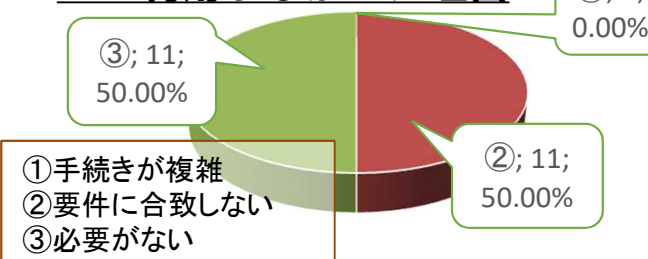
- ① 利用した
- ② 利用していない(知っている)
- ③ 知らない

### B : 使い勝手



- ① 良い
- ② 悪い
- ③ 問題はない

### D : 利用しなかった理由



- ① 手続きが複雑
- ② 要件に合致しない
- ③ 必要がない

## 問4 金融支援について<融資制度> ②

### 期待される改善点

#### 1. 無利子融資枠の拡大

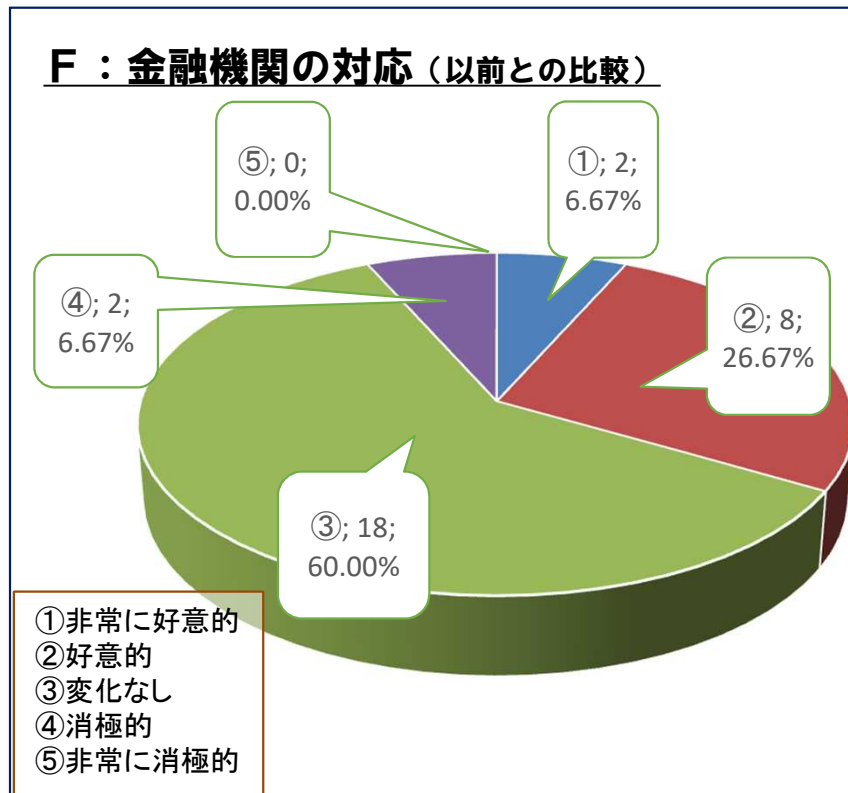
- 実質無利子支援の増加
- 融資上限が低い

#### 2. 融資期間の延長

- 長期化に伴う制度の延長・拡大を願う
- 据置期間の延長
- 要件緩和、航空機産業の特例化
- 影響度に応じて、据置期間の延長、要件緩和等柔軟な対応
- 航空機産業に特化した内容、融資額、据置期間等必要
- 航空機における投資を考えた場合、融資額が低すぎる

## 問4 金融支援について<融資制度> ③

□融資に際しての金融機関の対応は、消極的との回答は1割未満である一方、非常に好意的、好意的とする回答が1/3。



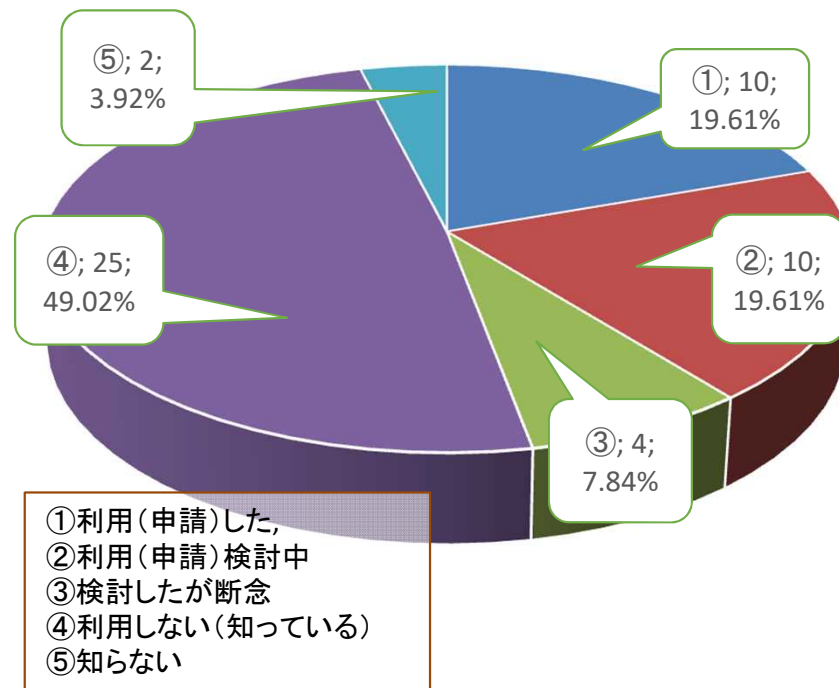
### 以前と比較して消極的になったと感じる金融機関の態度

- お金は貸さないわけでもないが、固定費の見直しが優先
- 業績の改善見通しの明確化を要求された。

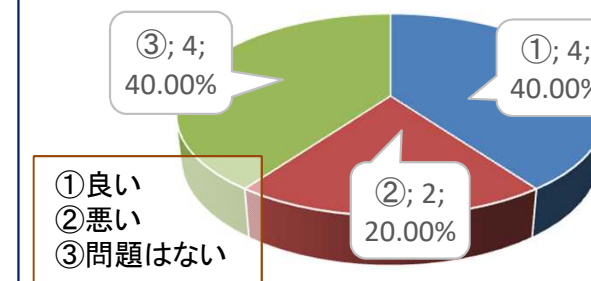
## 問5 中小企業向け設備投資支援＜事業再構築補助金＞ ①

- 事業再構築補助金については、約4割が利用又は利用検討中。
- 使い勝手については、利用者の8割が良い又は問題ないと回答。
- 利用しなかった者の約6割が手続きが複雑と回答。
- 期待される改善点として、書類の簡素化、要件の緩和が多く、一方で、制度の継続を求める声も

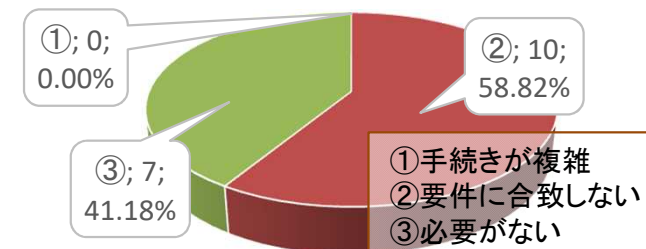
### A：事業再構築補助金について



### B：使い勝手



### D：利用しなかった理由



## 問5 中小企業向け設備投資支援＜事業再構築補助金＞ ②

### 期待される改善点

#### 1. 手続きの簡素化

- 申請書類の簡略化
- 要件の緩和、申請書類の簡素化
- 事業計画書の簡素化
- 申請の簡略化及びフォーマットの使いやすさ

#### 2. 対象要件の緩和

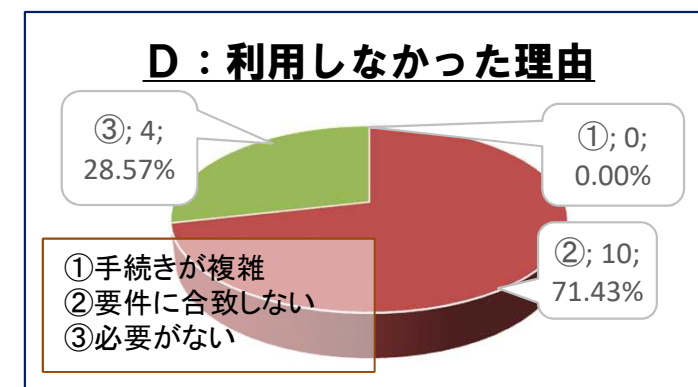
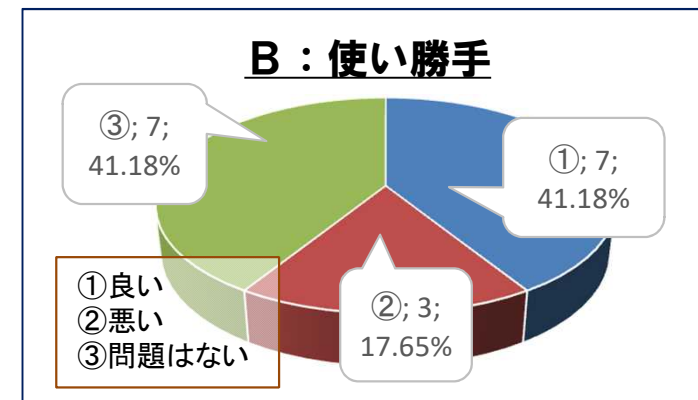
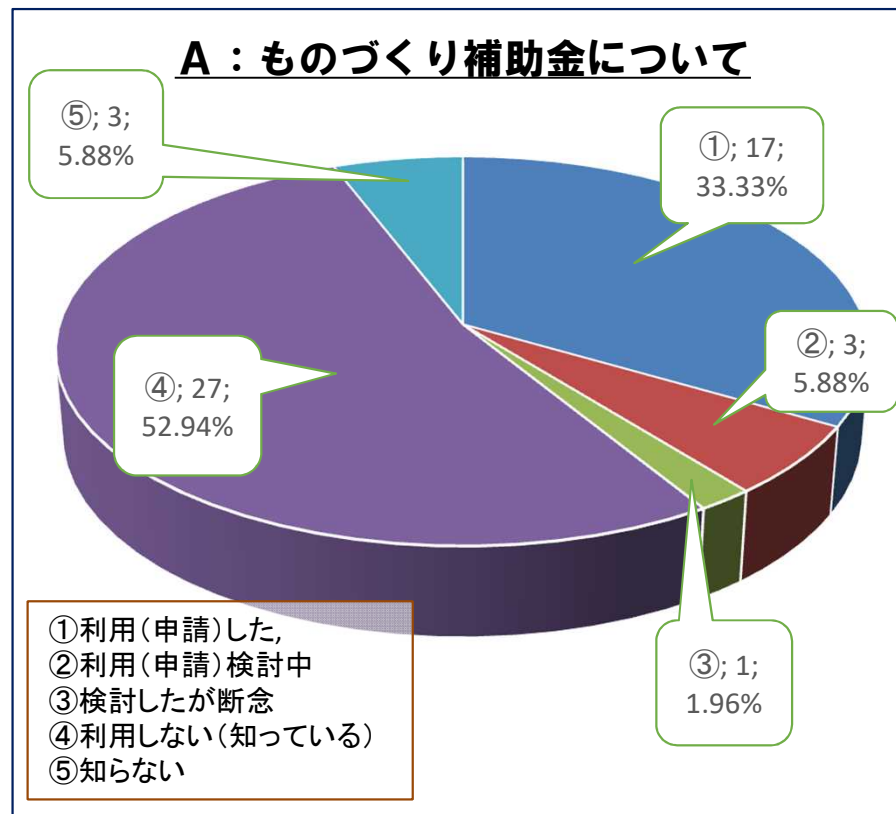
- 要件の緩和
- 額の上限撤廃と大企業（当社レベル）にも合致する要件が必要
- 売上減少していなくても対象にしてほしい
- 経費対象に人件費を加えて頂きたい
- 補助金比率の引き上げ
- 事業の新規性の要件があるので、利用しづらい

#### 3. 制度の継続

- 継続して実施してほしい
- 実施期間の延長
- 補助額も大きく新規事業立ち上げに活用を検討したい。一方、投資も大きくなるため将来性の確信が求められるため、見極めが今年度中にできるのか不安。来年度以降も継続されることを要望したい。

## 問6 中小企業向け設備投資支援〈ものづくり補助金〉 ①

- ものづくり補助金については、約4割が利用又は利用検討中。
- 使い勝手については、良い又は問題ないという回答は8割を超える。
- 期待される改善点として、一層の書類の簡素化、上限額(1千万円)・補助率(通常1/2)の増加を求める声がある。



## 問6 中小企業向け設備投資支援〈ものづくり補助金〉②

### 期待される改善点

#### 1. 手続きの簡素化

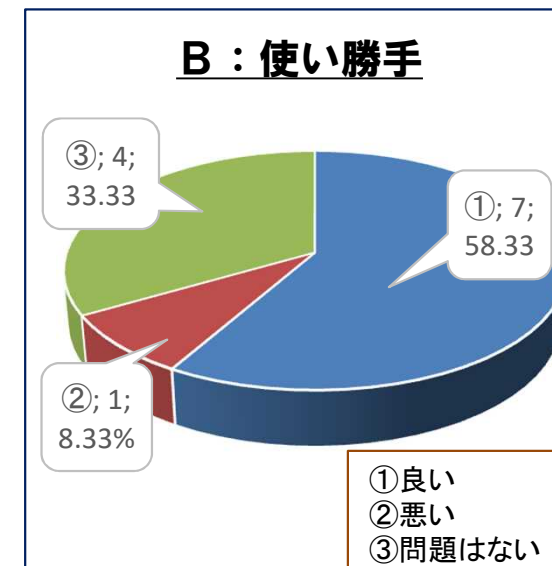
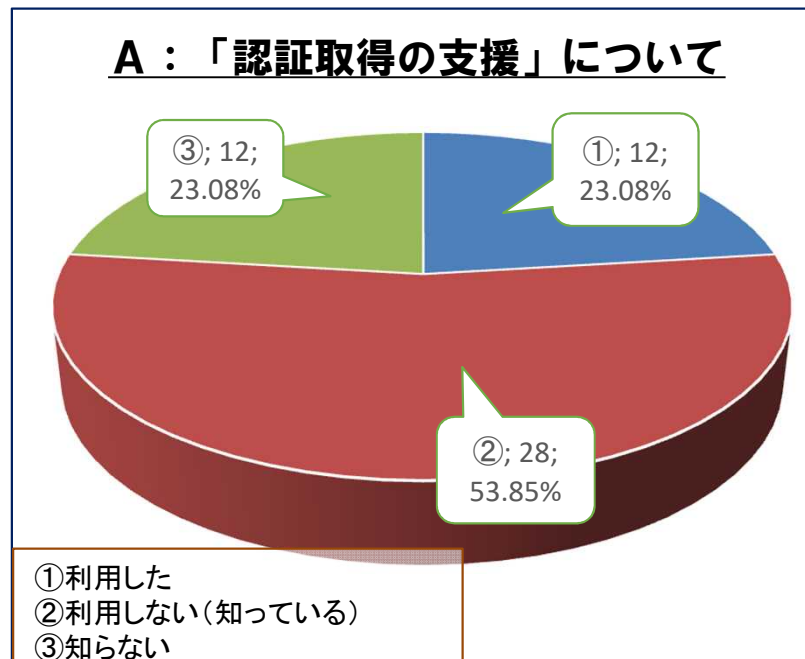
- 申請書類の簡略化
- 会計システムや照合チェックが大変なので、見直しただけないでしょうか
- 申請手続きの緩和（簡略化）と迅速化を改善すべき

#### 2. 対象要件の緩和

- 上限撤廃
- ケースバイケースで補助率や補助金額の上限が変わるような仕組みがあると更に取り組みやすい。
- 複数回、利用している企業の減点を緩和してほしい
- 通常枠での助成率「2/3」を確保いただきたい。
- ものづくりの通常枠を倍（2000万円）に上げてもらいたい
- 貸上げ要件を無くしてほしい

## 問7-1 新たな仕事の創出支援<認証>

- 認証取得支援については、約1/4が利用。
- 使い勝手については、良い又は問題ないという回答は約9割。
- 期待される改善点として、金額が少ないとの声がある。



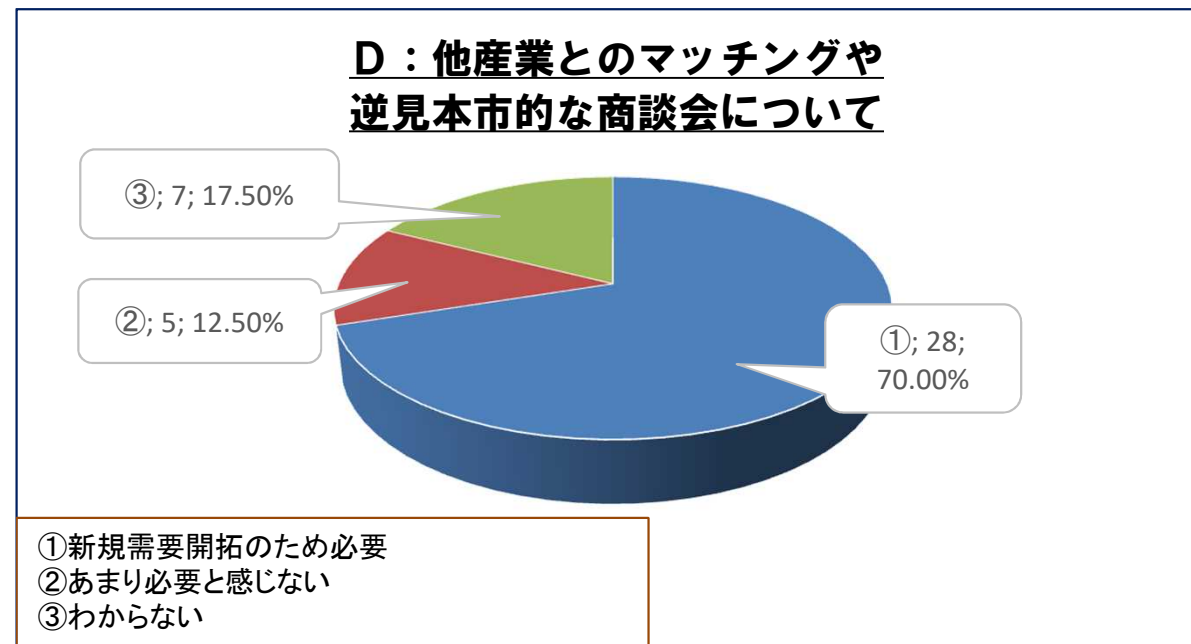
### 期待される改善点

- 金額が低いのと申請に時間が掛かる。
- 認証支援では、取得者側への補助が主体となっており、支援を提供する側の補助となる仕組みがない。支援提供側の事業成立は容易ではなく、やり手が育たない
- AS9100認証について、現状よりも更なる助成、特に既存認証企業への全面的な支援



## 問7-2 新たな仕事の創出支援<マッチング>

□他産業とのマッチングや逆見本市的な商談会については、7割が新規需要開拓のために必要と回答。



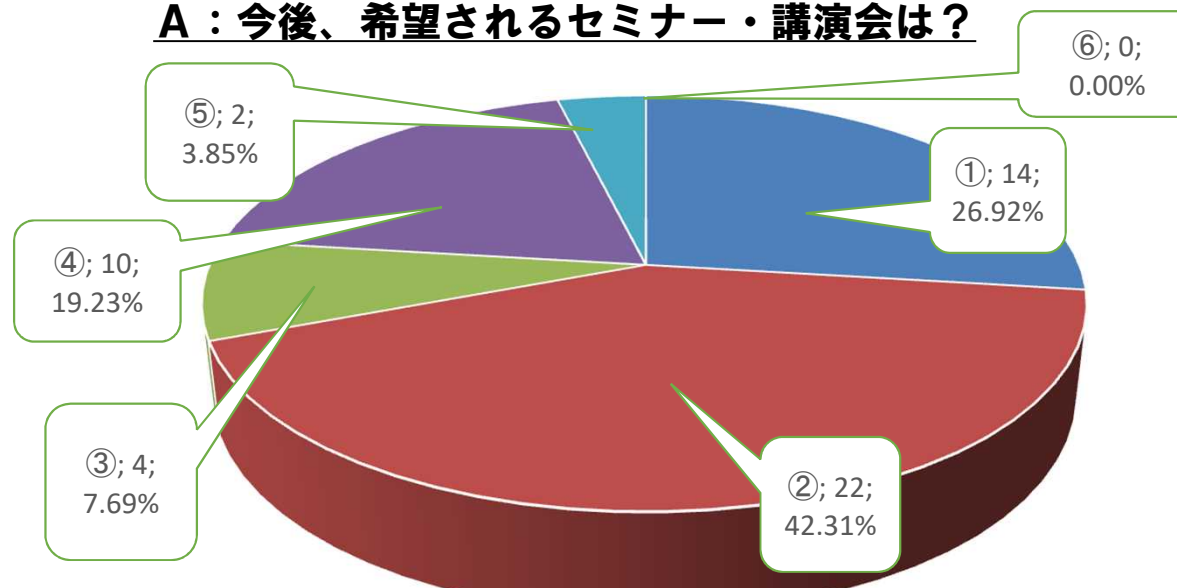
### 期待される改善点

- マッチングなどは過去申請するも、なかなか実になっておらず誠に恐縮ですが、今後も継続的なご支援をお願いいたします
- 他産業とのマッチングの機会が増えるとありがたい
- ビジネスマッチングで得た情報により、既存パートナー企業の育成指導へもつながる。また、新規取引先開拓することにより弱点を補うことが可能。結果、生産性向上につながる。
- 新規需要開拓を目的とした、海外事業者を含めたマッチングイベント等の開催を希望します。
- 弊社内が新規業務にソツなく対応させて頂ける様になり次第、既存以外への進出を考えます。OBE TO BE、展示会の機会をさらに企画いただきたい（他業種含め、より安価に）

## 問 8 将来を見据えた取組みへの要望 ①

□今後、希望されるセミナー・講演会は、8割が航空宇宙分野とその次世代分野の動向に係るもの。

### A：今後、希望されるセミナー・講演会は？



- ①航空宇宙分野の将来展望
- ②航空分野での新事業展開 (水素、ドローン、エアモビリティ等)
- ③宇宙分野関連 (ロケット、小型衛星、データ利用等)
- ④他産業分野への展開 (医療、自動車等)
- ⑤工場運営 (生産技術、生産管理、品質管理等)
- ⑥その他

## 問 8 将来を見据えた取り組みへの要望 ②

### 期待するセミナーテーマ

#### 1. 航空宇宙分野の将来展望

- 航空宇宙分野の回復見直しと今後の展望
- コロナ後に予測される航空分野の大きな変化予測と今から必要な対処法を多岐の視点から取上げてほしい
- 宇宙分野におけるプロジェクトスケジュールとニーズについて

#### 2. 航空分野の先端技術動向

- 電動化のマーケットと国内外の動き
- 海外での電動推進航空機の開発見通し
- ドローン、エアモビリティまたは、医療分野への展開等に資するセミナー
- 航空機次期戦闘機を含め、国プロジェクト 等
- 航空機技術の転用事例、課題等
- ドローンポートについては、中国・カナダに先行されており日本の現状は漸く動き出したところである。この分野への可能性などを探りたい
- グローバル展開、カーボンニュートラルへの技術動向
- 今後の変化をビジネスチャンスと見たく、新事業の情報のセミナーを希望します
- 航空分野での新事業展開(水素、ドローン、エアモビリティ等)のほか将来のゼロカーボンに向けた政府方針や事業内容など
- 新素材及び成型技術等
- カーボンフリーが航空宇宙産業に与える影響
- 空飛ぶ車
- 航空機新事業/新市場について
- 国内外の最新情報・技術の入手

#### 3. 生産管理・生産性向上

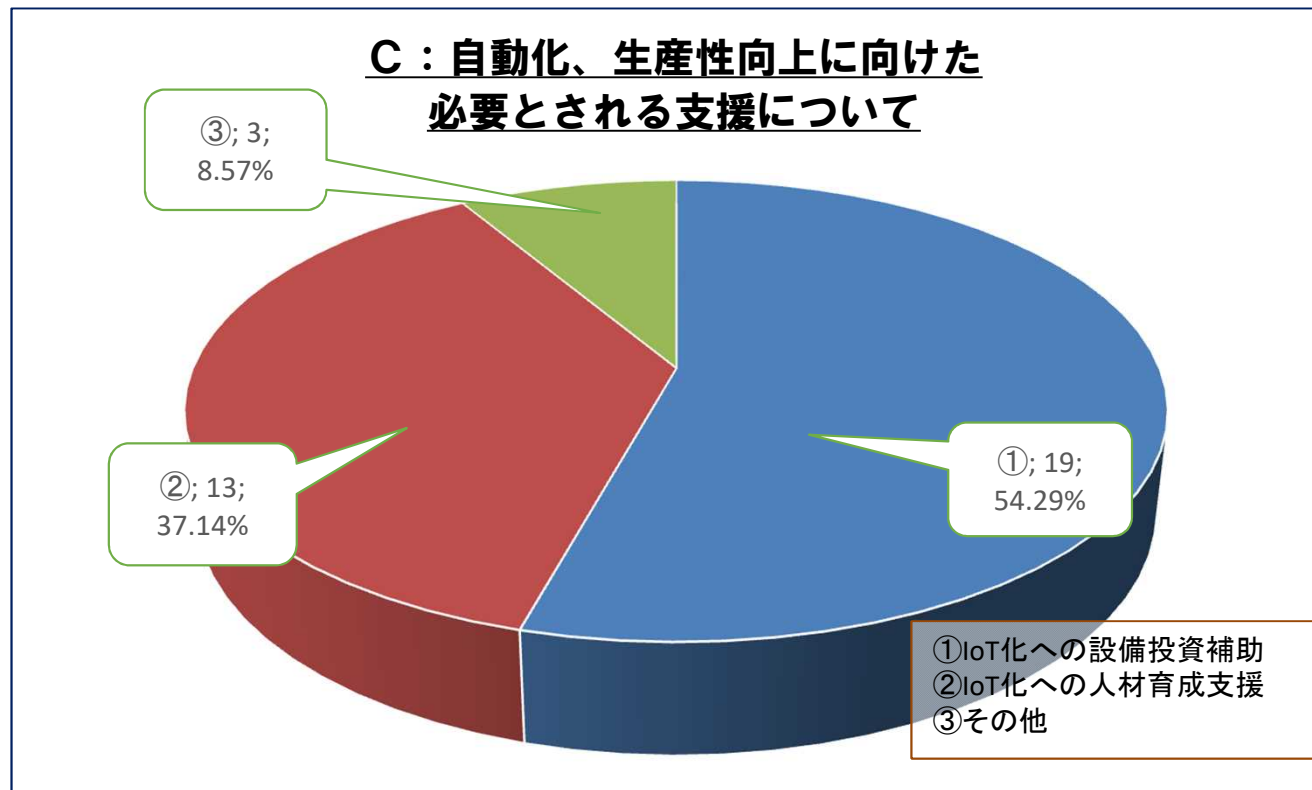
- 新事業におけるAS9100認証制度の活用、サイバーセキュリティ
- 管理の省人化と標準化

#### 4. その他

- 潜在顧客との接点を持てる機会を創出していただきたい

## 問 8 将来を見据えた取組みへの要望 ③

□自動化、生産性向上に必要な支援は、IoT投資への補助金を望む声が半数を超え、IoT化のための人材育成を求める声も約4割ある。



## 問 8 将来を見据えた取組みへの要望 ④

### IoT化に向けての具体的な支援策について

#### 1. 補助金等

- IT投資は中小企業にとっては負担が大きいいため、PCの購入レベルからの設備投資補助が欲しい。
- 中小企業が簡単にDX化を進められるような支援策があるとありがたい
- 各企業の目的、必要性に応じた導入策の支援
- IoT機器導入に対する補助金、助成金、税制優遇等
- 設備投資に対する補助金

#### 2. 人材育成、研修

- 設備/システム等導入時のバックアップをお願いしたいです
- 体系的な教育訓練、講習会等のプログラム実施
- IoTに精通した方の指導や助成金申請書類の支援
- 研修制度の設立及び受講費 助成金の支援
- 人材育成機関の充実
- 規模は小さくても、安価ですぐ行えるような手作りの設備を作っていくセミナーを希望します
- 航空機産業であれば海外航空機メーカーの技術や設備に精通した専門家による支援がほしい
- 画像処理技術、言語処理など機械学習系の充実を期待します。
- 中小企業向けにシステム開発をサポートしてくれる会社を知りたい
- IT技術者の国内育成と技術力の向上
- 先行する企業の事例等の入手
- 手法を知りたい

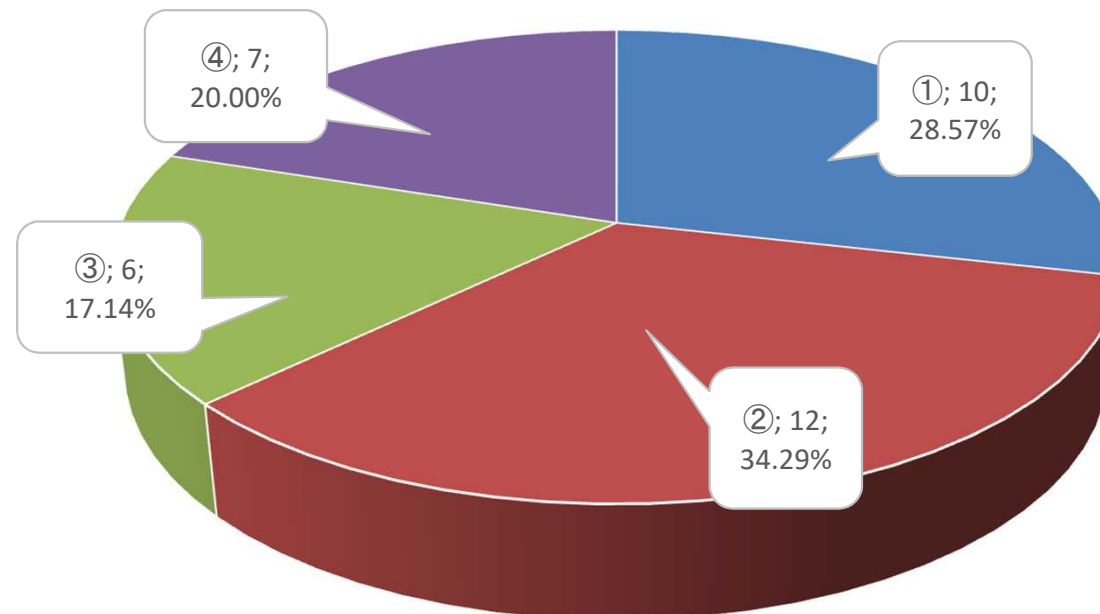
#### 3. その他

- ペーパーレス
- やはり、セキュリティーがあってこそと思います。バラバラに取り組むのではなく国を挙げて強いセキュリティーを構築して頂きたい。

## 問 8 将来を見据えた取り組みへの要望 ⑤

□研究開発プロジェクトに何らかの形で参加したいとする回答が8割。

**E：研究開発プロジェクトへの参画意図**



- ①国主導の大型プロジェクトに新規参画したい
- ②中小企業が参加しやすい中規模プロジェクトに新規参画したい
- ③中小企業が単独でも行える小規模プロジェクトに新規参画したい
- ④その他

## 問 9 自治体や国へのご要望 ①

□国が開発を主導するとともに、継続的な人材の育成・確保、海外企業等とのマッチング機関の創出及び航空宇宙産業の特性・事情を踏まえた支援を要望。

### 1. 国が航空宇宙産業の開発を主導すべき

- 欧米握られた認証含むレギュレーションを掴むため、オールジャパンで次世代航空機(カーボンニュートラル対応)国産機をもう一度MRJのように国家PJとして開発に取り組んでほしい。
- コロナの感染拡大で航空宇宙分野も低迷しているが、今後次期戦闘機の開発をはじめ先端技術の開発は、航空宇宙産業にとって大きなウエートと責任があるので前向きに取り組む必要がある。
- 大手重工が国主導の大規模プロジェクトに参画し、そこに当社のような技術者派遣の会社から技術者の支援が出来るようなことが出来ればよい。
- MRJ、次期戦闘機、その他防衛装備品について国内の製造企業に仕事が出るように、メーカーの支援や海外発注の抑制など仕向けてもらいたい。
- 航空機分野において、特に電子機器分野の国内開発を進めてほしい。海外製の丸買いを続けると国内技術が低下する。
- 現状の支援策が中小に特化している以上、産業の活性化に進まない。全体を見越したプロジェクトの発足(次期戦闘機開発では一部の企業が潤うだけ)。
- 三菱航空機の旅客機開発の再開支援。
- 航空機電動化に向けた国際標準化への取組みに関して各企業の取りまとめが必要で長期的な支援を検討して頂きたい。

### 2. 航空宇宙産業での継続的な人材の育成・確保

- 航空機産業に携わる技術者の人材確保と夢のある産業である事を次世代の方へ継承していく活動が必要と感じる。
- 航空宇宙産業のコロナウイルスにより受けた影響の大きさから、当該業界を志望する人が減っていると懸念します。
- まだまだ航空機業界は元に戻らない状況、技術者の雇用確保に懸命

### 3. 海外企業等とのマッチングの創出

- どうしても中核のプレーヤーが海外に偏ることから、海外の潜在顧客との接点を持てる機会を創出していただきたい。
- 海外企業との協業及び情報交換の機会をもっとあればよい。
- 国内外における潜在顧客との接点を持てる機会の創出を引き続きよろしく願いいたします。
- 新規の仕事頂くには人に会う必要があります。海外とのコミュニケーションですと、物事を決める人が最低でも英語を話す事は必須です。国と企業のトップが合同でトップセールスをする必要性を感じます。

## 問 9 自治体や国へのご要望 ②

### 4. その他

- 国内の航空産業はBoeing依存，三菱依存のため，彼らが日本企業へ発注しやすくなるような支援を検討頂きたい。技術面は各社の努力ですが，例えば国内調達する場合は補助が出る等。
- 航空機産業への特例措置として、固定資産税減額の延長、保守費などの固定費用の助成
- 航空機産業界への税制緩和
- 航空機産業への特例措置、助成金の新設
- 航空機開発で培った特殊な技術や技能を維持する為の助成
- 航空事業における各種規制の緩和および新しい評価基準の改訂



## 問10 C-ASTECへのご要望

□C-ASTECに対しては、引き続き、情報提供、企業間のマッチング、人材育成を望むとともに、会員等の声をまとめ国等に要望することを求める声が多い。

### 1. 情報提供・発信

- JAXA等の将来航空宇宙の展望などの、講演会と簡単な親睦会
- 新規パートナーの開拓につながるような情報提供をお願いしたいです。
- 航空宇宙業界の動向に関する情報提供会員企業間の交流
- 引き続き情報発信等いただけましたら幸いです。

### 2. マッチング

- 今後も様々な展示会などで交流の機会をいただければ幸いです。
- 国内外における潜在顧客との接点を持てる機会の創出を引き続きよろしく願いいたします。
- 会員企業の技術、技能を把握・集約し、各社ごとや企業を組み合わせたマッチングをおこなうような支援をお願いしたい
- 意見や情報交換の場所づくりをお願いしたい。

### 3. 人材育成

- 航空産業を生き残る為に間接要員（生産技術、品質保証、生産管理）のレベルと工数を確保するのが容易ではない。以前のように航空産業は花形事業では無くなった現状から人材育成を一企業だけで行うのではなく、国などが介入して人材を確保しないと産業自体が萎んでしまう。「航空産業の人材」というテーマ等で必要性、重要性を強化した取組みを期待。

### 4. 要望活動

- 引き続き、業界の置かれた状況を国に伝え、支援等の働きかけをお願いします。
- コロナによる航空機産業のダメージを最小限にすると共に早期回復に繋がる活動（国への働きかけ等）
- 引き続き経営状況を見ながら、必要な提言を中央省庁につなぐ橋渡しをして欲しい。
- エアロ分野におけるトレンド情報や中長期的な将来的な業界の動き、必要とされる技術情報展開など、これまで以上に情報/イベントなど発信されることを希望します。
- 要望実現に向けた行政等との折衝。